

2025年1月10日 結核対策評価会議

本日は、ご多忙のところ
ご参加いただきありがとうございます

相模原市の結核の現状



相模原市マスコットキャラクター「さがみん」

相模原市保健所疾病対策課



- 相模原市の結核の現状
- 外国出生の結核患者の状況
- DOTSについて

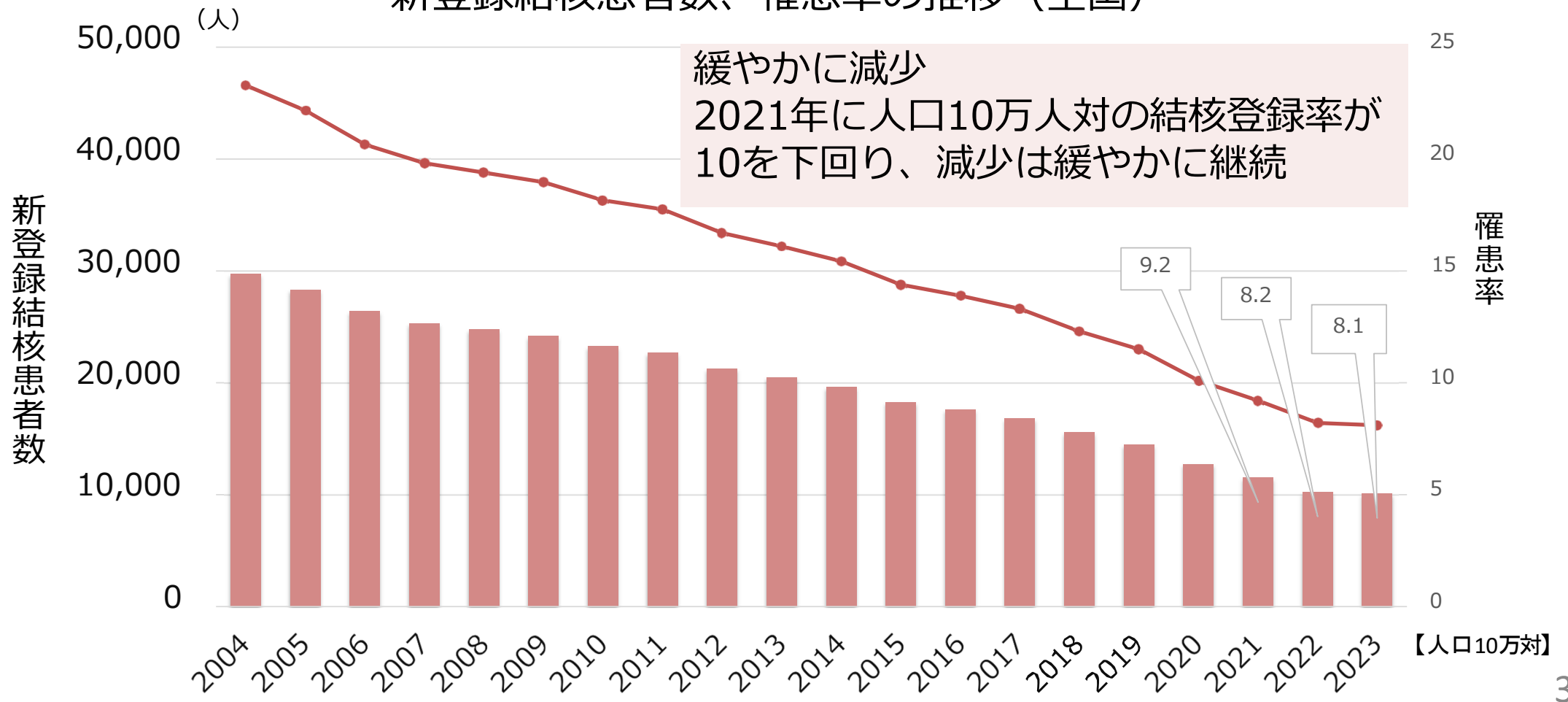


相模原市マスコットキャラクター「さがみん」

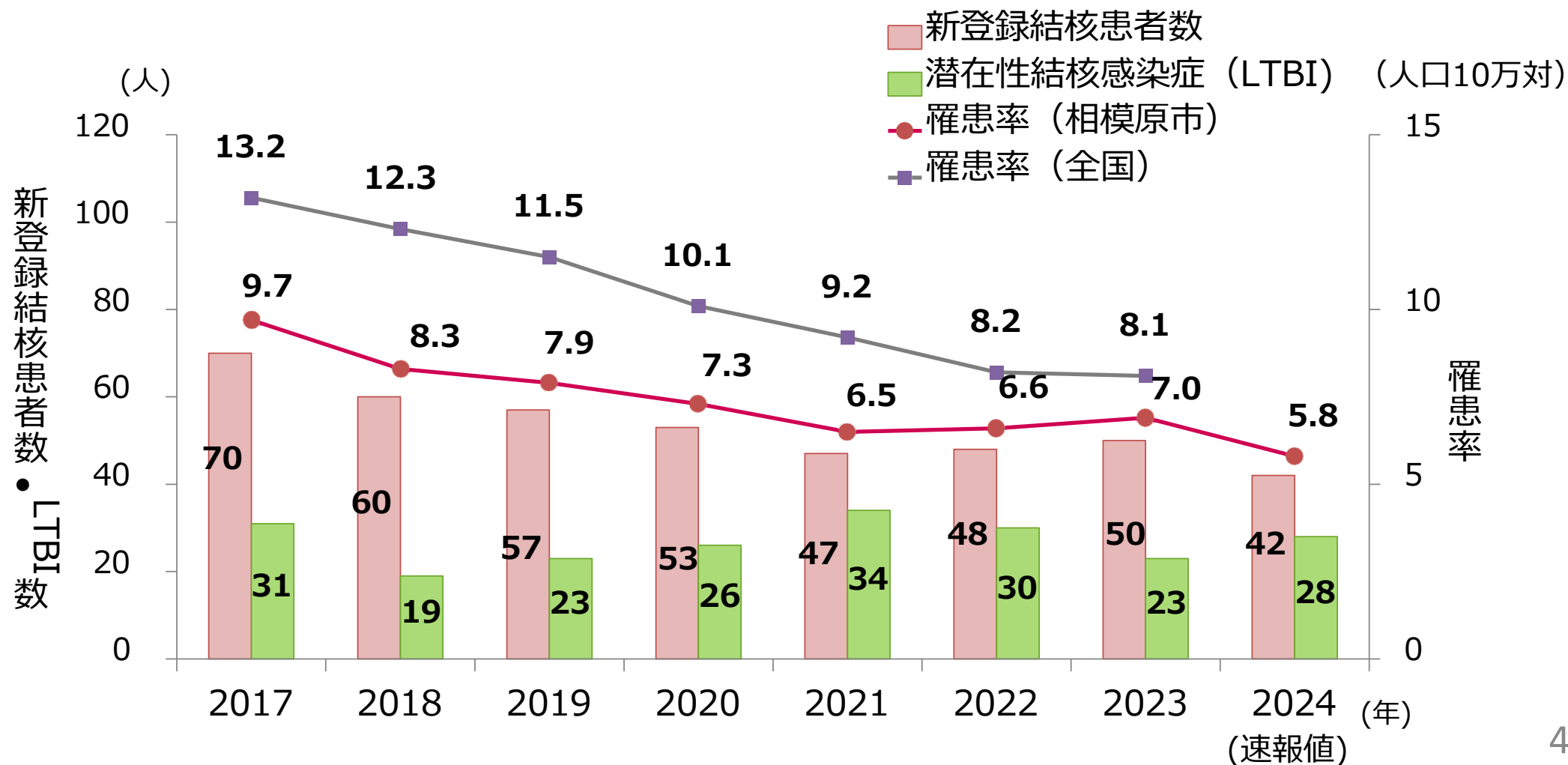


2023年も罹患率は減少

新登録結核患者数、罹患率の推移（全国）



新登録結核患者数と罹患率、LTBIの推移（相模原市）

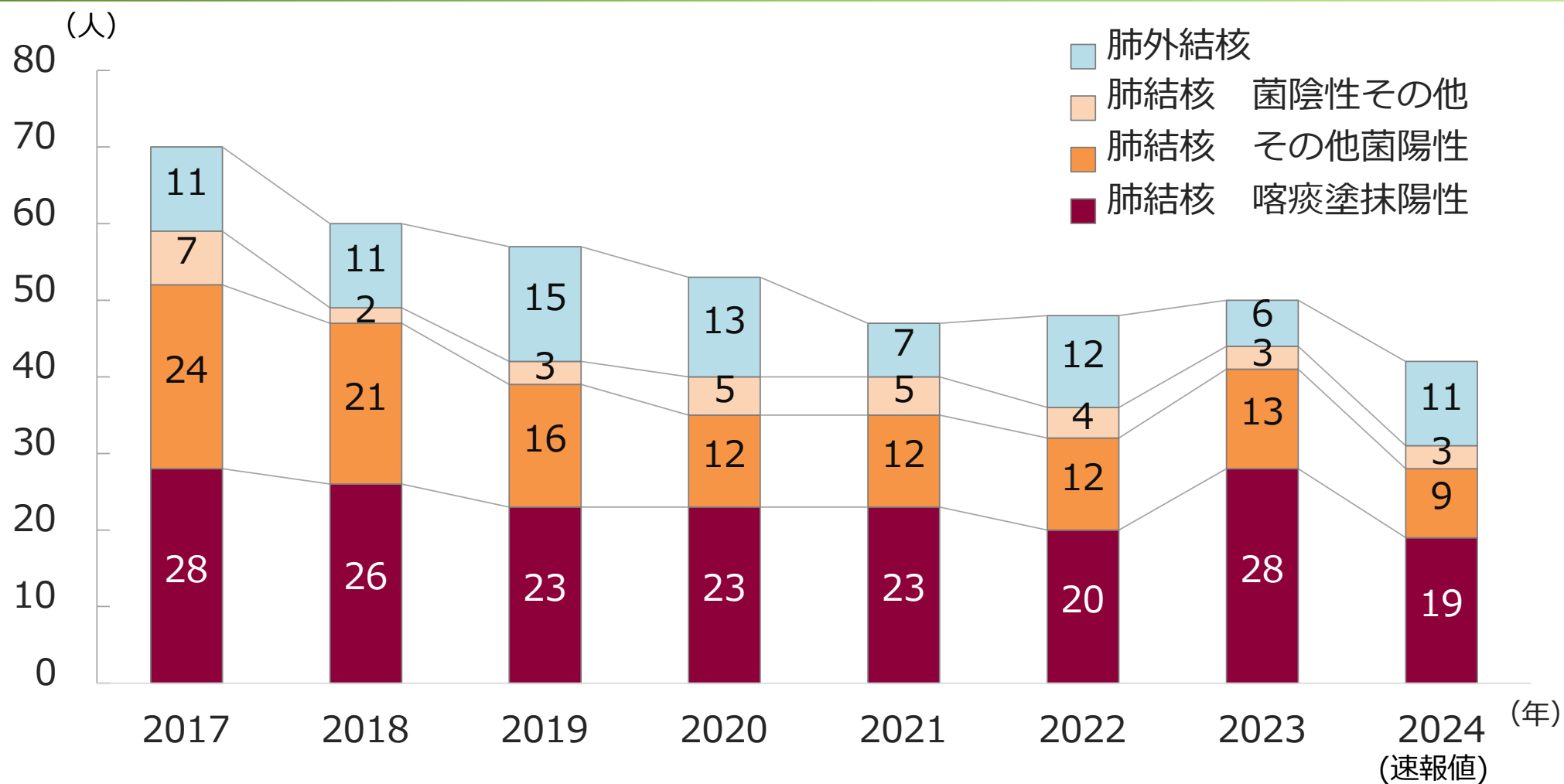


新登録結核患者数等（2023年 相模原市、神奈川県、全国）

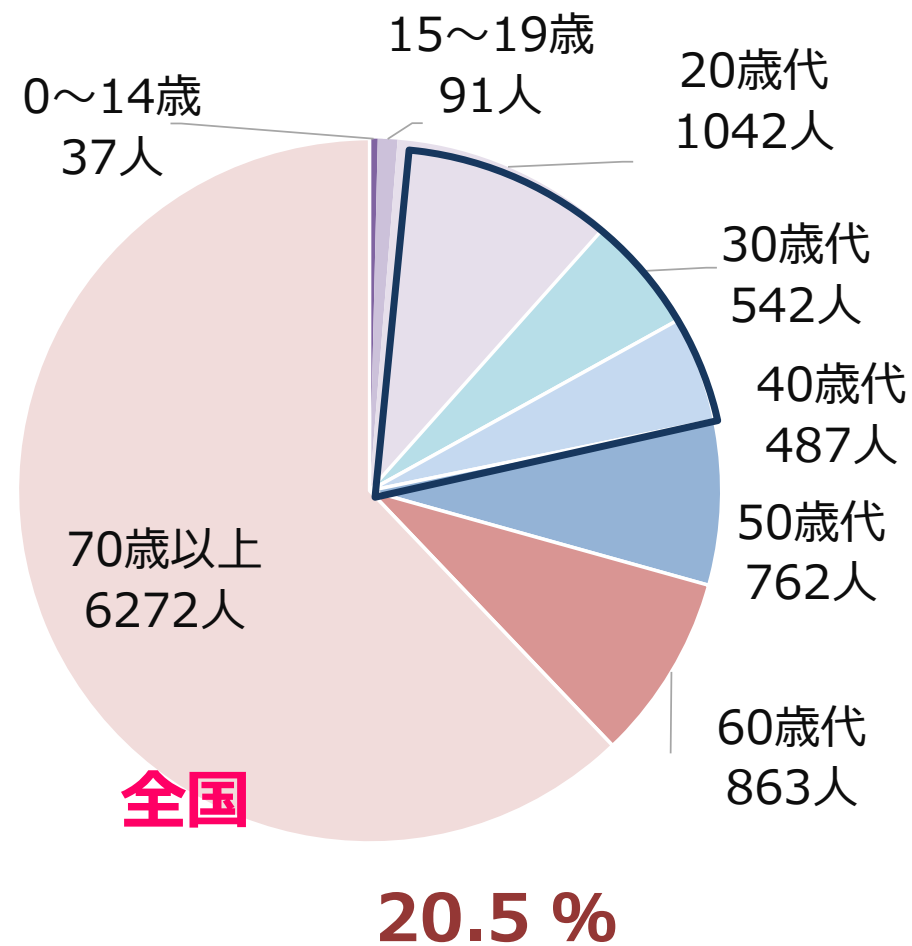
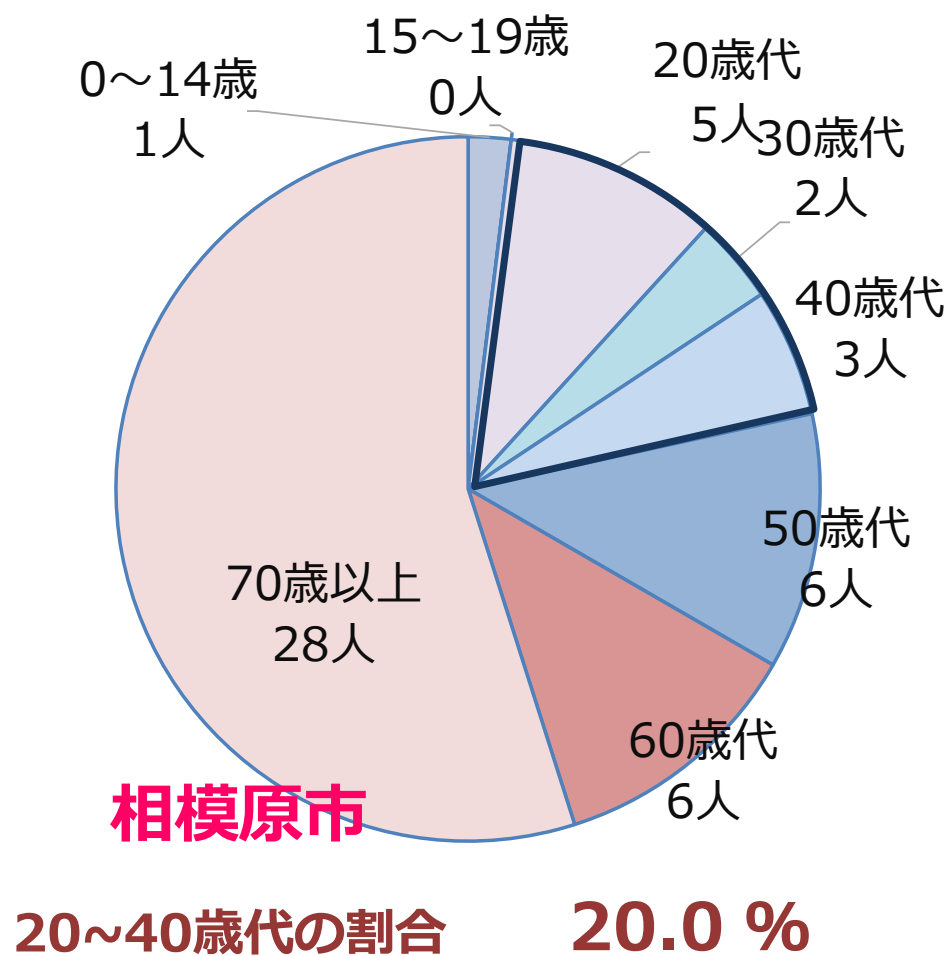
	相模原市		神奈川県		全国	
	人	率	人	率	人	率
新登録結核患者	50	7.0	655	7.1	10,096	8.1
肺結核	44	6.1	506	5.5	7,495	6.0
喀痰塗抹陽性	28	3.9	249	2.7	3,524	2.8
潜在性結核感染症	23	3.2	313	3.4	5,033	4.0
結核死亡	10	1.4	93	1.0	1,587	1.3

（率は、人口10万対）

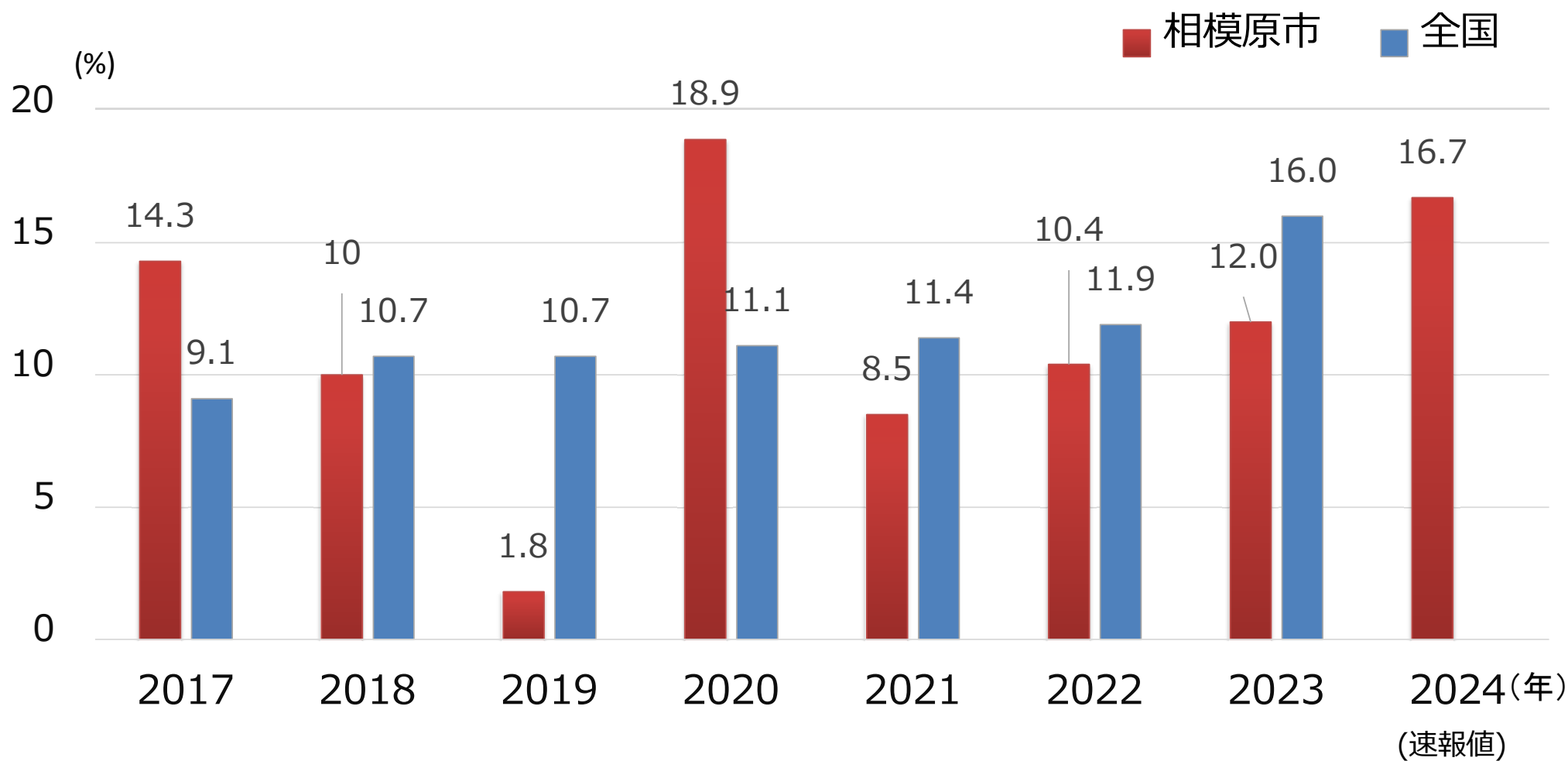
新登録結核患者の活動性分類（相模原市）



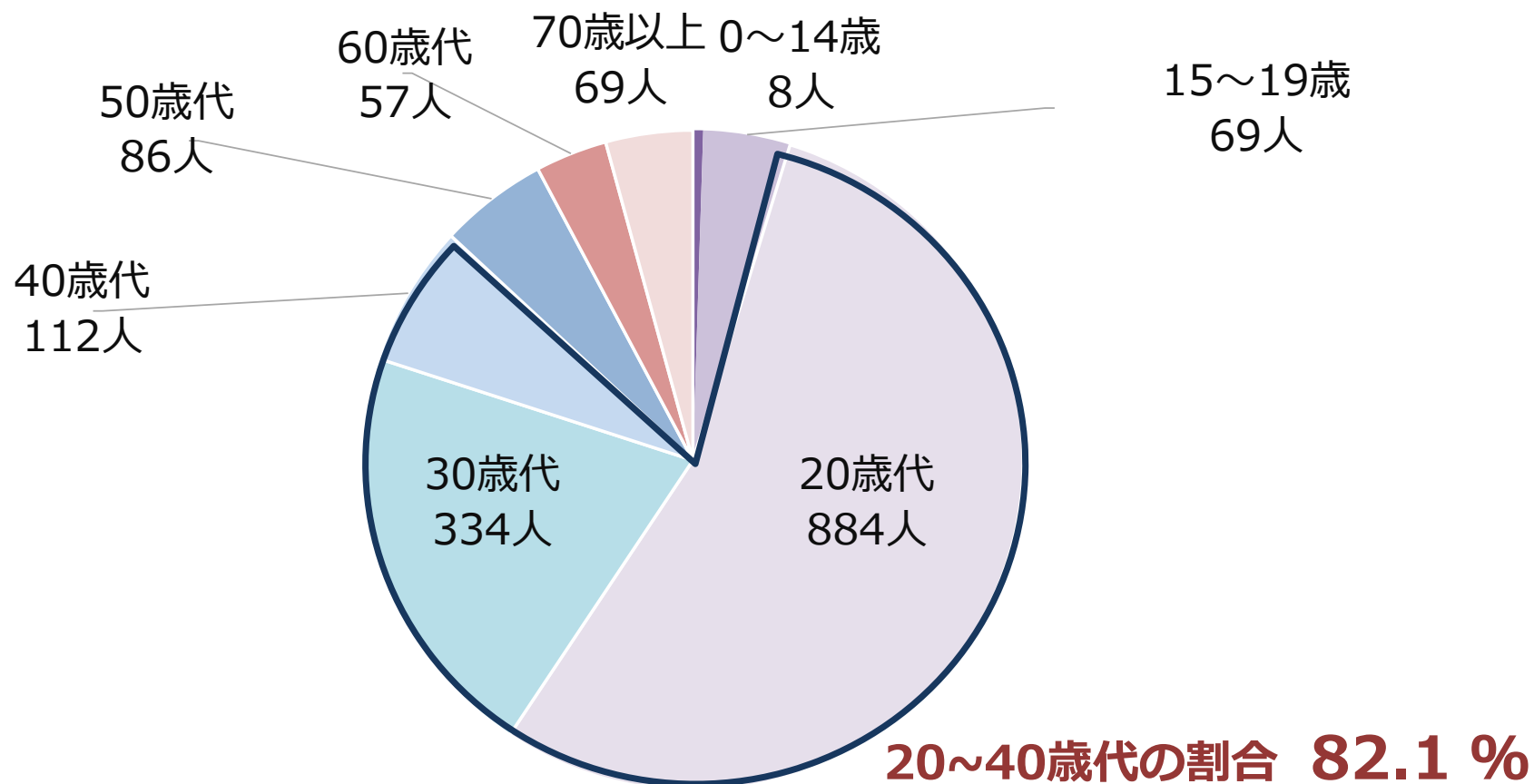
新登録結核患者の年代別割合（2023年相模原市、全国）



新登録結核患者に占める外国生まれの割合

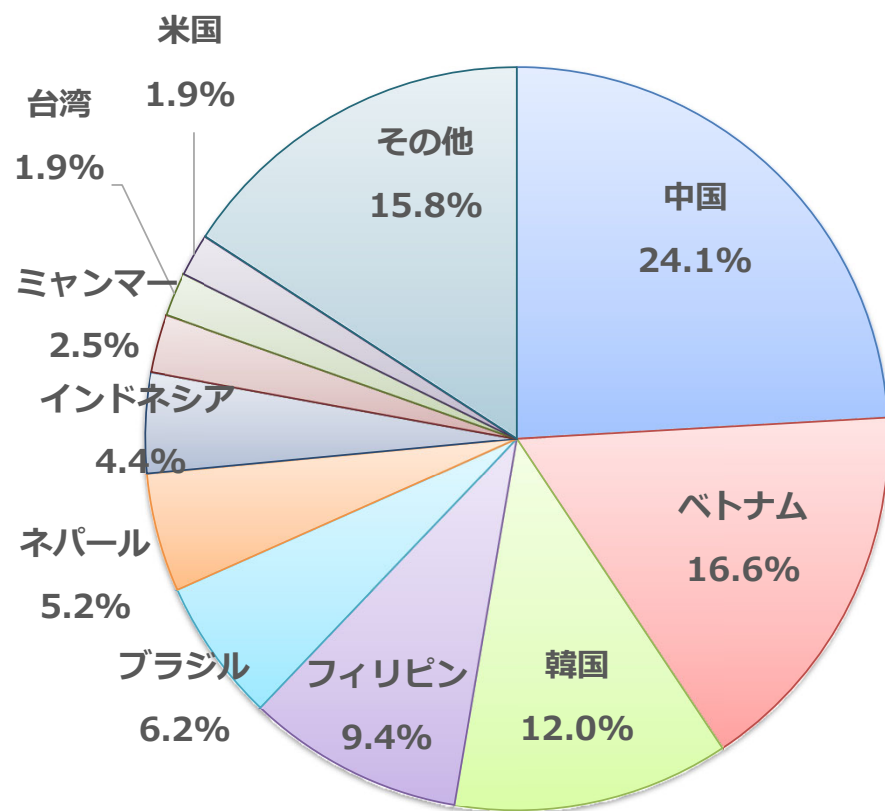


新登録結核患者の外国生まれ年代別（2023年全国）

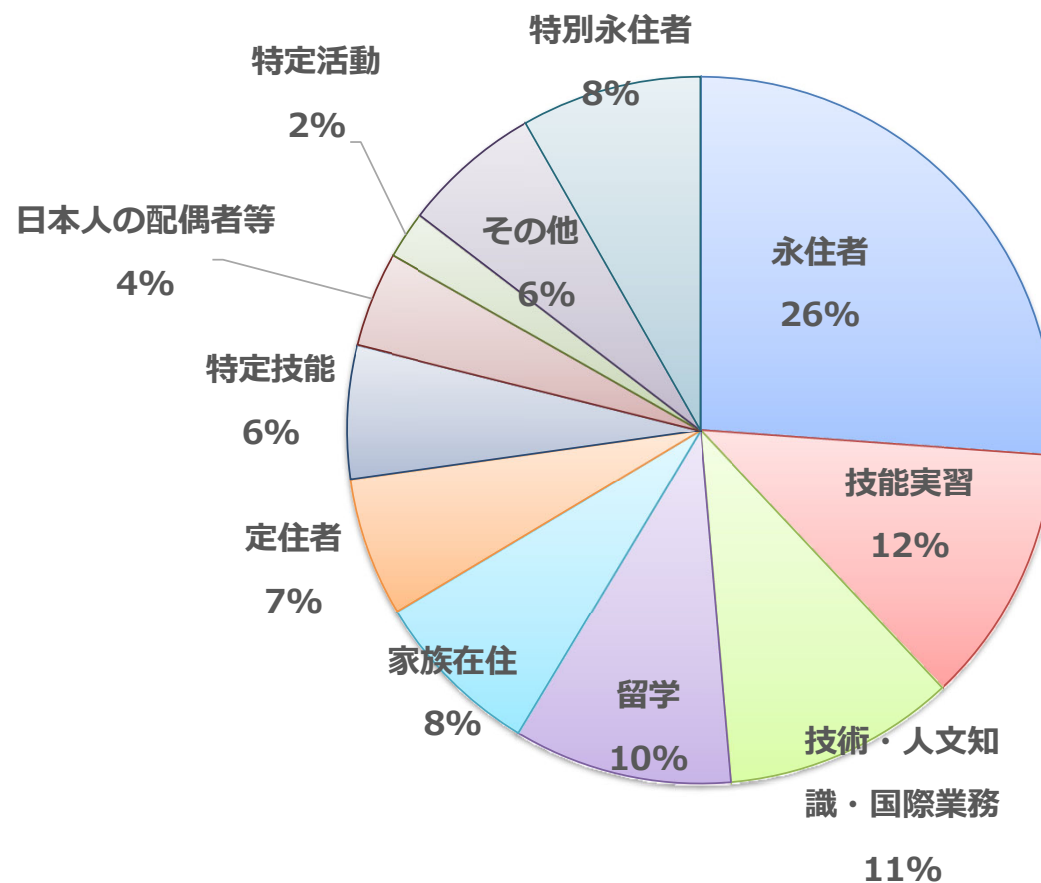


令和5年末現在における在留外国人について

国籍・地域別 在留外国人の構成比（令和5年末）



在留資格別 在留外国人の構成比（令和5年末）



出典：法務省出入国在留管理庁HP

在留資格の種類

- ※在留期間は3か月～5年が多いが、資格により無期限の場合もある。

外交	公用	教授	芸術	宗教	報道
高度専門職 (1号・2号)	経営・管理	法律・会計業務	医療	研究	教育
技術・人文知識・国際業務	企業内転勤	介護	興行	技能	特定技能 (1号・2号)
技能実習 (1号・2号・3号)	文化活動	短期滞在	留学	研修	家族滞在
特定活動	永住者	日本人の配偶者等	永住者の配偶者等	定住者	

・・・在留者の多い資格

在留資格の種類

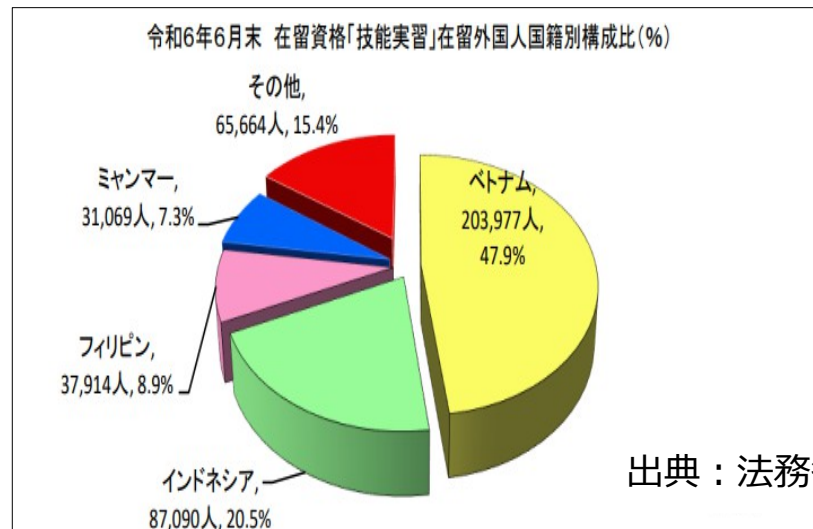
在留資格	本邦において行うことができる活動・該当例	在留期間
経営・管理	企業等の経営者・管理者	5年, 3年, 1年, 6月, 4月又は3月
技術・人文知識・国際業務	機械工学等の技術者, 通訳, デザイナー, 私企業の語学教師, マーケティング業務従事者等	5年, 3年, 1年又は3月
特定技能	1号 (特定産業分野に属する相当程度の知識又は経験を要する技能を要する業務に従事する外国人)	法務大臣が個々に指定する期間 (1年を超えない範囲)
	2号 (特定産業分野に属する熟練した技能を要する業務に従事する外国人)	3年, 1年又は6月
技能実習	1号 (第1号企業単独型の技能実習生)	法務大臣が個々に指定する期間
	2号 (第2号企業単独型の技能実習生)	法務大臣が個々に指定する期間
	3号 (第三号企業単独型の技能実習生)	法務大臣が個々に指定する期間 (2年を超えない範囲)

日本で開発し培われた技能・技術・知識を
発展途上国へ移転することを目的として
平成29年に施行

技能実習生

1年目	技能実習1号	
2年目	技能実習2号	← 在留資格更新
3年目		
4年目	技能実習3号	← 一旦帰国
5年目		← 在留資格更新
		← 帰国

受入人数の多い国は、①ベトナム ②インドネシア ③フィリピン



【世界各国の全結核届け出率】

- 1位 フィリピン
- 2位 ミャンマー
- 3位 インドネシア
- 4位 ベトナム
- 5位 タイ

(出典：結核研究所疫学情報センター)

来日前の費用に関して（技能実習生）

来日前に母国の送出機関又は仲介者（送出機関以外）に支払った費用の総額の平均値は、54万2,311円であり、国籍別の状況は下表のとおり。

支払費用総額 (n=1,369)	ベトナム (n=659)	中国 (n=281)	カンボジア (n=68)	ミャンマー (n=80)	インドネシア (n=242)	フィリピン (n=39)
平均値（円）	688,143	591,777	573,607	287,405	235,343	94,821

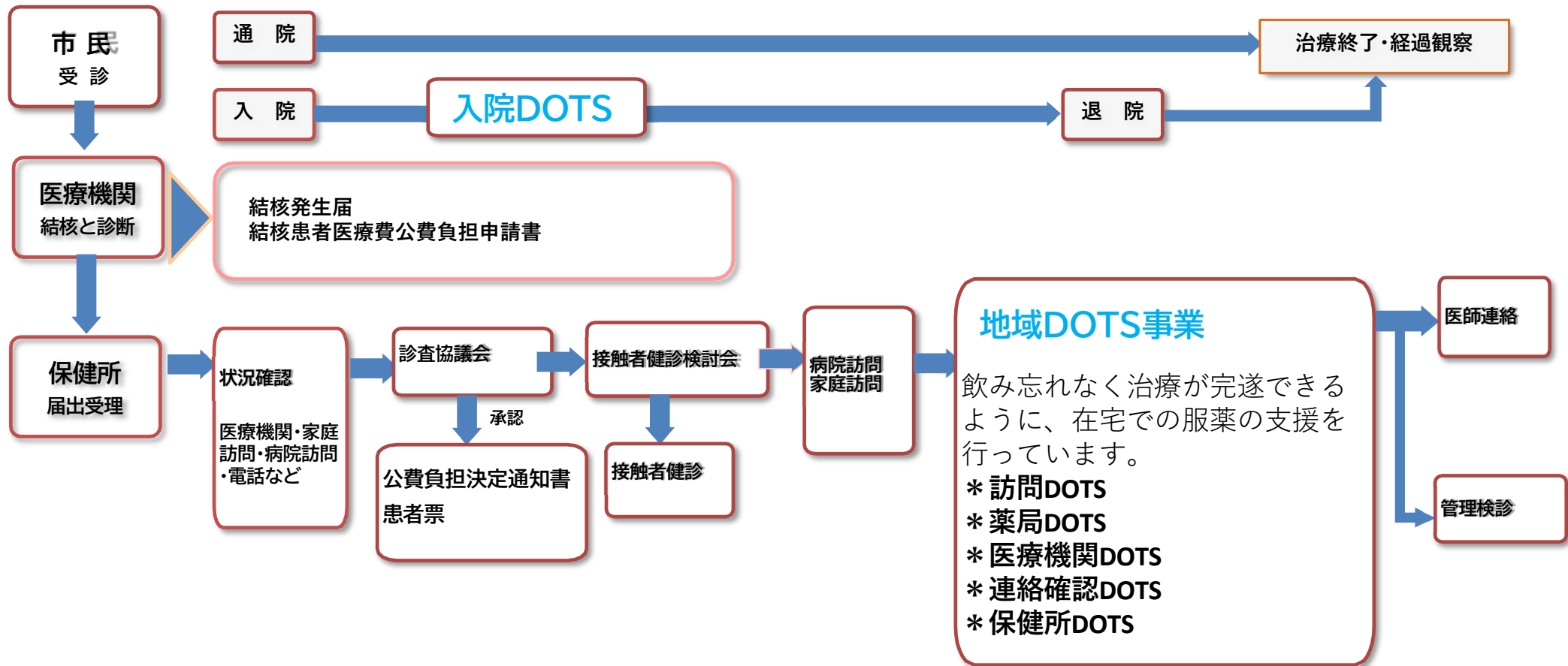
来日前に母国で借金をしている技能実習生は約55%。平均値は54万7,788円であり、国籍別の状況は下表のとおり。

借金総額 (n=993)	ベトナム (n=618)	カンボジア (n=65)	中国 (n=50)	ミャンマー (n=44)	インドネシア (n=130)	フィリピン (n=86)
平均値（円）	674,480	566,889	528,847	315,561	282,417	153,908

来日前に説明を受けた給料の平均値は、14万9,146円。

出典：法務省出入国在留管理庁
「令和4年技能実習生の支払い費用に関する実態調査」

保健所の関わり



DOTS（直接服薬確認療法）

結核患者に確実に抗結核薬を服用させることにより結核のまん延を防止するとともに、多剤耐性結核の発生を予防する。

入院治療中患者（院内DOTS）

患者が入院している病院が主体
地域医療機関、保健所等が連携して支援



通院治療中患者（地域DOTS）

保健所が主体。
医療機関、関係機関（社会福祉施設等）が連携して支援



地域DOTS

個別患者支援計画

『患者の確実な治療完遂のため、患者の治療中断リスク、背景、環境等を考慮し、患者と相談の上、本人にとって最も適切かつ確実な服薬確認の頻度と方法を採用して実践する。』

服薬確認頻度は $A \cdot B \cdot C$
の 3 ランクより選択



服薬支援アセスメント票

アセスメント評価			
ランク	合計点数	評価	服薬確認頻度
A	15点以上	治療中断リスクが高い患者	原則毎日
B1	10～14点	服薬支援が必要な患者	週1回程度
B2	5～9点	服薬支援が必要な患者	2週に1回程度
C	0～4点	AB以外の患者	月1～2回以上

第2号様式

作成日 令和7年1月10日

服薬支援アセスメント票

登録番号 600099

病型 bII2

保健師

患者氏名 相模 花子

女

服薬期間 ~

生年月日

合併症

住 所

合併症その他

入院医療機関

薬剤耐性 INH: RFP: EB: SM: PZA:

通院医療機関

最大塗抹 2+ (検体) 喀痰

中断リスクアセスメント項目

1. 結核中断のハイリスク要因

10点 0点

小 計

1) 生保受給者、簡易宿泊所、第2種福祉施設

2) 単身者(高齢者、若者等)

3) 精神障害者、社会的ひきこもり等

4) 薬物依存・多量飲酒者

5) フリーター

6) 外国人

7) 結核治療中断歴

有 10

2. 結核の理解・知識(マイナス点あり)

2点 0点 -2点

小 計

8) 治療の同意(疾病の受容)

9) 治療への意欲

10) 治療内容の理解(期間、定期通院等)

中間 中間 有

-2

3. 結核の病状

1点 0点

小 計

11) 病状(咳・痰・発熱等)の改善

12) 菌陰性化

13) 薬剤耐性(INH・RFP・その他)

14) 副作用の出現及び他疾患の憎悪

15) 再発患者

有 有 無 無 無

0

4. 心身、生活状況

1点 0点

小 計

16) 合併症(糖尿病・免疫不全等)

17) 合併症の理解・コントロール

18) 経済的困難

19) 要介護者(服薬準備や服薬が出来ない)

20) 規則的な服薬を自己管理できるか

21) 定期的通院

有 有 無 有 不可 可能

3

5. 在宅DOTS

1点 0点

小 計

22) 院内DOTSは良好であったか

23) 入院中自己管理をしていたか

24) 服薬に対する不安

25) DOTS支援者(服薬確認する第3者)

無 有 有

2

合 計

検 討 日

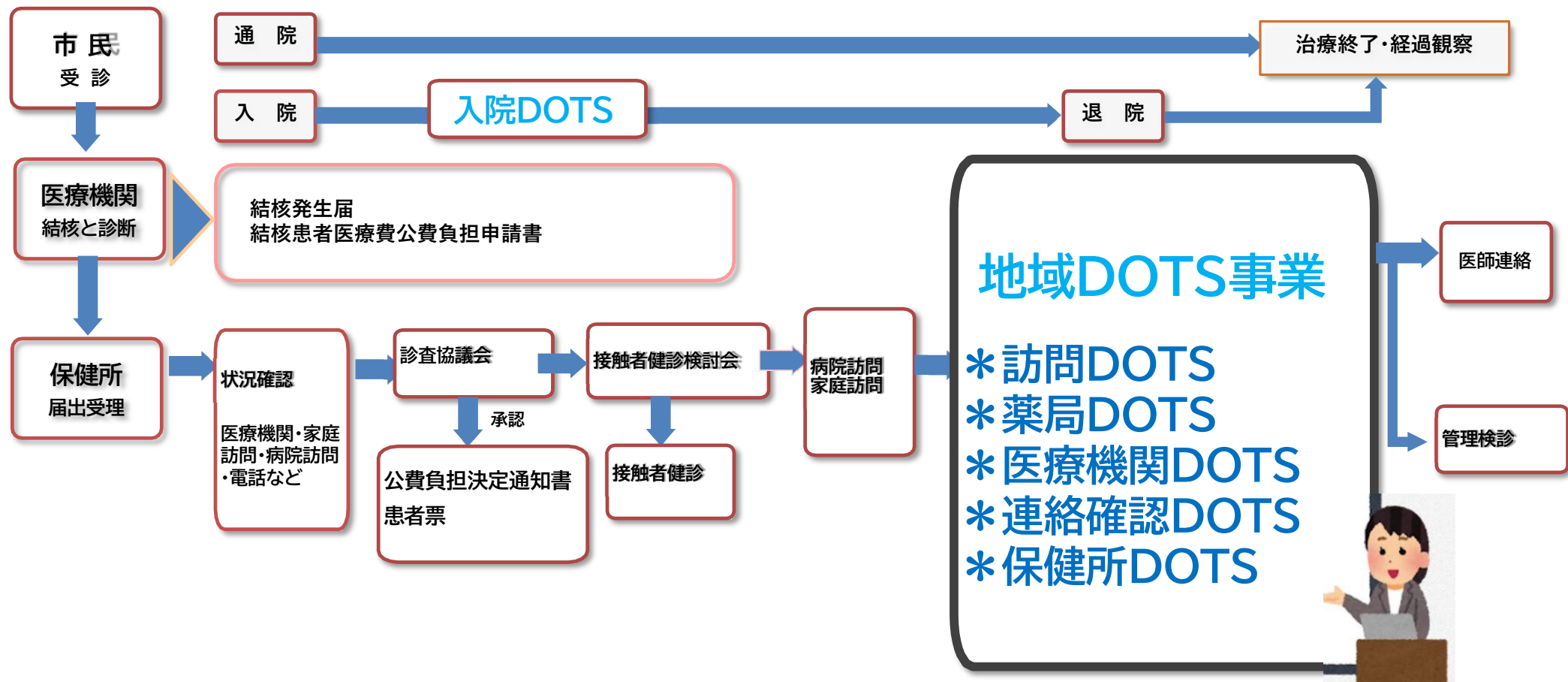
支援ランク

A 13点

評 価

18

患者支援を継続



今後とも、連携、情報共有をお願いいたします

医療機関

- 発生届
- 患者治療
- 公費負担申請
- 定期病状調査
- 管理検診
- 接触者健診

など

連携

情報共有

- 病状
- 検査所見
- 治療状況 等

患者の早期発見及び
治療完遂に向けた患者
支援等、今後ともご協
力いただきますよう
よろしくお願いいたします



保健所

患者支援

- 訪問・面接指導
- 積極的疫学調査
- 服薬指導（DOTS）

接触者対応

- 接触者健診
- 施設調査（必要時）

治療終了後

- 管理検診（6か月ごと2年間）

感染症診査協議会

結核診査部会

勧告等

（診査会に諮問）

- 入院勧告
- 就業制限
- 公費負担

ご清聴ありがとうございました

今後ともどうぞよろしくお願いいたします



お問い合わせ・ご連絡は
相模原市保健所 疾病対策課まで
TEL：042－769－7201（直通）

